

## I 調査の概要

### (1) 調査の目的

本調査は、近畿大学学生の性に関する考えを把握するとともに、性に関する課題を探究すること、学生の人権に関する意識を把握し、人権意識のさらなる向上を達成するために、より効果的な教育活動・啓発活動・研究活動等の推進を図ること、これら目的のために基礎資料を得るべく実施したものである。

### (2) 調査対象

法学部、経済学部、経営学部、文芸学部、理工学部、薬学部、医学部、農学部、短期大学部、総合社会学部、建築学部、生物理工学部、工学部、産業理工学部、国際学部、情報学部の各学部において、2023年度前期に開講された「人権と社会」の受講生および「人権と社会」以外の講義受講生

### (3) 標本の抽出

各学部における標本数が可能な限り均等になるよう配慮したうえで、各学部より当該講座1クラス以上を抽出し、そのクラスの受講生全員を標本とする有意抽出法によって標本を抽出した。

### (4) 調査方法

法学部、経営学部、文芸学部、農学部、総合社会学部、国際学部については、「人権と社会1」の講義時間、経済学部、理工学部、薬学部、医学部、短期大学部、建築学部、生物理工学部、工学部、産業理工学部、情報学部については、「人権と社会1」以外の科目における講義時間を利用し、担当教員より一斉に受講生に配付・回収して行なった集合調査である。

### (5) 調査期間

2023年7月1日～7月31日

### (6) 調査項目の選定・作成

調査項目の選定・作成にあたっては、近畿大学人権問題研究所内に「2023年度近畿大学学生の人権意識調査チーム（性の多様性編）」を設置し、検討を重ねた。

2023年度近畿大学学生の人権意識調査チーム（性の多様性編）

責任者 熊本 理抄（近畿大学人権問題研究所教授）

担当者 佐藤 望（近畿大学総合社会学部准教授）

風間 孝（中京大学教養教育研究院教授）

(7) 倫理的配慮

調査にあたっては、人権問題研究所内に設置した研究倫理グループで審査され、承認を得て実施した。回答者に対しては、①この調査の目的、調査の方法と公表の方法、②回答しない場合でも、なんら不利益を受けないこと、③プライバシーは厳格に守られること、などを説明した。